

ごみ処理の現状について

1. ごみ排出量

ごみ排出量の推移を表1～表3、及び図1～図3に示します。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた全国的な傾向として、令和2年度にはステイホームが求められたことにより生活系ごみは増加し、事業系ごみは減少しています。また、個包装が好まれたことによりプラスチック類が、ネットショッピングが活用されたことにより段ボールが増加しました。生活系ごみの増加や事業系ごみの減少傾向は徐々に収まりつつありますが、人々の習慣として定着し、令和2年度の水準が継続している品目（段ボール等）もあります。

蕨市・戸田市全体としては、65,000トン前後のごみが排出されています。新型コロナウイルス感染症の影響としては、概ね全国と同様の傾向にありますが、令和2年度に増加した生活系可燃ごみ及びプラスチック類は令和4年度には平成30年度の水準まで戻ってきています。

表1 ごみ排出量の推移（蕨市）

項目		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
総排出量		22,600	22,061	21,876	21,435	21,215	21,231	21,795	21,791	21,237	20,676
生活系		17,972	17,496	17,415	17,050	16,822	16,708	17,067	17,809	17,157	16,683
ごみ	可燃ごみ	12,063	11,862	11,903	11,772	11,791	11,753	11,856	12,106	11,833	11,508
	粗大ごみ	588	590	557	563	559	500	579	654	624	618
	不燃ごみ	732	686	670	668	646	656	716	807	701	642
	下水ごみ（～R3）	2	3	3	3	3	3	4	4	5	
資源	金属缶類	383	370	393	396	393	355	317	348	342	335
	ガラスびん類	515	503	484	467	467	485	529	585	565	539
	紙類	371	371	337	318	338	363	346	327	332	338
	ペットボトル	302	287	308	330	344	357	358	392	413	423
	プラスチック類	521	510	508	494	484	493	495	523	511	493
	紙パック	6	7	8	5	5	4	2	3	3	3
	段ボール	756	776	789	738	696	725	725	891	900	882
	新聞紙	807	674	628	541	418	328	393	345	296	306
	雑誌	634	595	567	502	421	424	486	535	399	384
	布類	283	254	252	246	251	253	255	286	231	206
	ペットボトルキャップ	5	5	3	2	4	4	2	0	0	3
堆肥用生ごみ	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	
事業系		4,628	4,565	4,461	4,385	4,392	4,523	4,728	3,982	4,080	3,993
可燃ごみ		4,628	4,565	4,461	4,385	4,392	4,523	4,728	3,982	4,080	3,988
下水ごみ（R4～）											5

※下水ごみは、令和4年度より区分を生活系から事業系に変更しています。

※四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

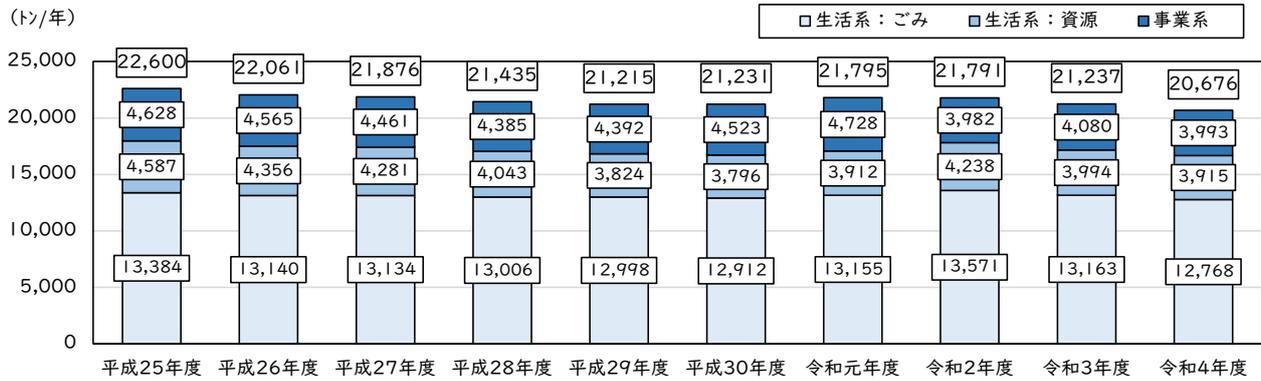


図1 ごみ排出量の推移（蕨市）

表2 ごみ排出量の推移（戸田市）

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総排出量	ト/年	44,116	44,681	44,508	45,027	44,676	44,997	46,056	46,450	44,999	44,122
生活系	ト/年	31,562	31,054	31,177	30,880	30,333	30,045	30,491	31,655	30,820	29,794
ごみ	ト/年	20,760	20,619	20,795	20,813	20,730	20,479	20,712	21,078	20,697	20,257
可燃ごみ	ト/年	1,246	1,180	1,217	1,246	1,099	1,123	1,325	1,390	1,248	1,122
不燃ごみ	ト/年	1,354	1,225	1,218	1,183	1,172	1,119	1,149	1,289	1,168	1,074
下水ごみ（～R3）	ト/年	276	256	194	262	243	205	172	120	77	
資源	ト/年	10,802	10,435	10,382	10,067	9,603	9,566	9,779	10,577	10,123	9,537
金属缶類	ト/年	608	585	580	571	575	565	544	607	598	557
ガラスびん類	ト/年	922	908	914	905	879	838	809	882	895	877
紙類	ト/年	391	397	408	403	370	363	375	376	363	380
ペットボトル	ト/年	564	542	545	528	520	597	602	694	698	722
プラスチック類	ト/年	1,156	1,137	1,175	1,182	1,169	1,182	1,219	1,280	1,299	1,176
紙パック	ト/年	32	31	31	30	29	29	29	33	32	30
段ボール	ト/年	1,183	1,203	1,227	1,269	1,286	1,302	1,332	1,626	1,662	1,633
新聞紙	ト/年	1,129	1,087	1,023	857	716	664	583	521	516	489
雑誌	ト/年	1,293	1,262	1,198	1,044	949	998	1,026	1,055	929	869
布類	ト/年	561	550	580	523	534	522	555	646	579	554
ペットボトルキャップ	ト/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堆肥用生ごみ	ト/年	86	73	74	65	63	60	58	56	58	55
事業系	ト/年	12,555	13,627	13,330	14,147	14,344	14,953	15,564	14,795	14,180	14,328
可燃ごみ	ト/年	12,555	13,627	13,330	14,147	14,344	14,953	15,564	14,795	14,180	14,271
下水ごみ（R4～）	ト/年										57

※下水ごみは、令和4年度より区分を生活系から事業系に変更しています。

※四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

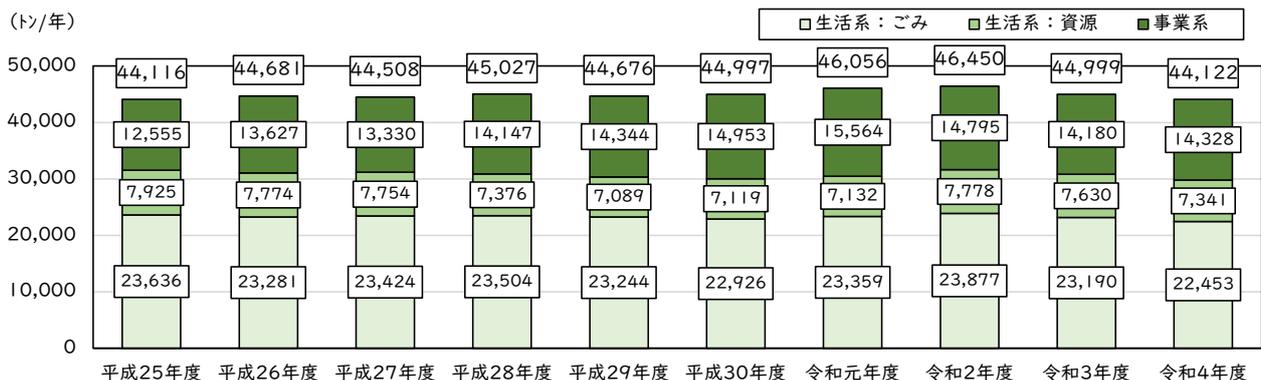


図2 ごみ排出量の推移（戸田市）

表3 ごみ排出量の推移（蕨市・戸田市合計）

		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
総排出量		ト/年	66,716	66,742	66,384	66,462	65,891	66,228	67,851	68,241	66,236	64,798
生活系		ト/年	49,533	48,550	48,592	47,929	47,155	46,753	47,558	49,464	47,976	46,477
ごみ	可燃ごみ	ト/年	32,823	32,481	32,698	32,585	32,521	32,232	32,568	33,184	32,529	31,765
	粗大ごみ	ト/年	1,834	1,769	1,775	1,809	1,658	1,623	1,904	2,044	1,872	1,740
	不燃ごみ	ト/年	2,086	1,911	1,888	1,851	1,818	1,775	1,865	2,096	1,869	1,716
	下水ごみ（～R3）	ト/年	278	259	197	265	246	208	176	124	82	
資源	金属缶類	ト/年	992	955	973	967	968	920	861	955	940	892
	ガラスびん類	ト/年	1,437	1,412	1,398	1,372	1,345	1,324	1,339	1,467	1,460	1,416
	紙類	ト/年	762	768	745	721	708	726	721	704	696	718
	ペットボトル	ト/年	865	829	853	858	864	954	960	1,087	1,112	1,145
	プラスチック類	ト/年	1,677	1,647	1,682	1,676	1,652	1,675	1,714	1,802	1,810	1,670
	紙パック	ト/年	38	39	39	35	34	33	31	36	35	33
	段ボール	ト/年	1,940	1,979	2,016	2,007	1,982	2,028	2,058	2,517	2,562	2,515
	新聞紙	ト/年	1,935	1,760	1,651	1,398	1,134	992	976	866	812	795
	雑誌	ト/年	1,927	1,857	1,765	1,546	1,370	1,422	1,512	1,590	1,328	1,253
	布類	ト/年	845	804	832	769	785	775	810	932	810	760
	ペットボトルキャップ	ト/年	5	5	3	2	4	4	2	0	0	3
	堆肥用生ごみ	ト/年	90	76	77	69	67	64	61	60	61	58
事業系		ト/年	17,183	18,191	17,792	18,533	18,736	19,476	20,293	18,777	18,260	18,321
可燃ごみ		ト/年	17,183	18,191	17,792	18,533	18,736	19,476	20,293	18,777	18,260	18,259
下水ごみ（R4～）		ト/年										62

※下水ごみは、令和4年度より区分を生活系から事業系に変更しています。

※四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

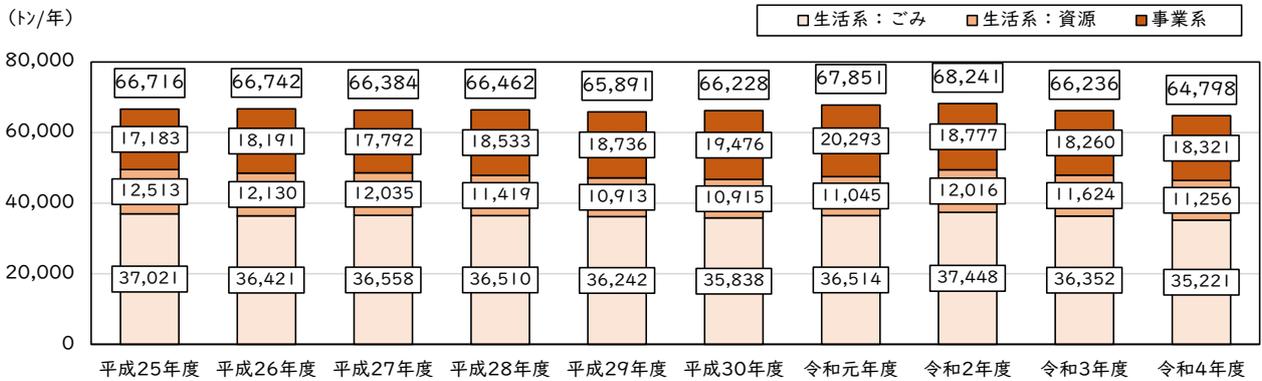


図3 ごみ排出量の推移（蕨市・戸田市合計）

2. ごみ処理量

ごみ処理量の推移を表4に、人口の推移を図4に、排出量の内訳及び推移を図5に、処理量の推移を図6に示します。

前回の一般廃棄物処理基本計画の目標値についてはいずれも達成できていないものの、ごみの減量や資源化は着実に進んでおり、今後もさらなる減量化・資源化に向けて取り組む必要があります。

表4 ごみ処理量の推移

項目			実績									前回計画目標値		
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和9年度
蕨市	人口	人	72,181	72,321	72,931	73,692	74,264	75,146	75,669	75,704	75,603	75,324	—	—
	総排出量	ト/年	22,600	22,061	21,876	21,435	21,215	21,231	21,795	21,791	21,237	20,676	19,000	18,000
	総排出量 原単位	g/ 人・日	858	836	819	797	783	774	787	788	769	752	700	660
	焼却処理量	ト/年	18,107	17,693	17,611	17,429	17,475	17,539	18,069	17,640	17,449	16,897	15,000	14,000
	総資源化率	%	25.3%	22.8%	22.7%	21.8%	21.0%	20.9%	21.2%	22.6%	21.8%	22.2%	—	—
	最終処分率	%	4.4%	6.3%	6.7%	6.4%	6.2%	6.2%	5.0%	4.7%	4.9%	4.3%	—	—
	人口	人	129,755	132,335	134,722	136,878	138,563	139,383	140,328	140,756	141,213	141,725	—	—
総排出量	ト/年	44,116	44,681	44,508	45,027	44,676	44,997	46,056	46,450	44,999	44,122	36,000	35,000	
総排出量 原単位	g/ 人・日	926	920	899	896	879	880	893	902	872	853	706	661	
焼却処理量	ト/年	36,422	36,966	36,857	37,794	37,824	38,110	39,289	38,952	37,858	37,151	29,000	28,000	
総資源化率	%	22.8%	20.4%	20.6%	19.4%	18.8%	18.9%	18.8%	19.8%	19.7%	20.0%	—	—	
最終処分率	%	4.5%	6.5%	6.9%	6.6%	6.3%	6.4%	5.1%	4.8%	5.0%	4.4%	—	—	
組合	人口	人	201,936	204,656	207,653	210,570	212,827	214,529	215,997	216,460	216,816	217,049	—	—
	総排出量	ト/年	66,716	66,742	66,384	66,462	65,891	66,228	67,851	68,241	66,236	64,798	55,000	53,000
	総排出量 原単位	g/ 人・日	905	893	876	865	848	846	861	864	837	818	704	661
	焼却処理量	ト/年	54,529	54,659	54,467	55,224	55,299	55,649	57,358	56,592	55,307	54,048	44,000	42,000
	総資源化率	%	23.7%	21.2%	21.3%	20.2%	19.5%	19.6%	19.6%	20.7%	20.4%	20.7%	25.0%	25.0%
	最終処分率	%	4.5%	6.4%	6.8%	6.5%	6.3%	6.3%	5.1%	4.8%	5.0%	4.4%	—	—

※令和元年度～令和3年度の焼却処理量には基幹的設備改良工事中の外部委託量を含みます。

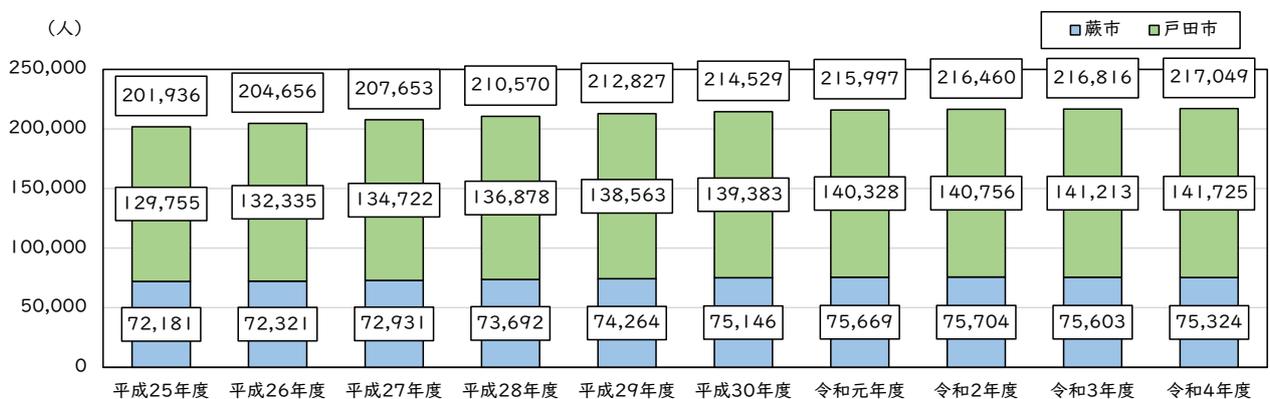


図4 人口の推移

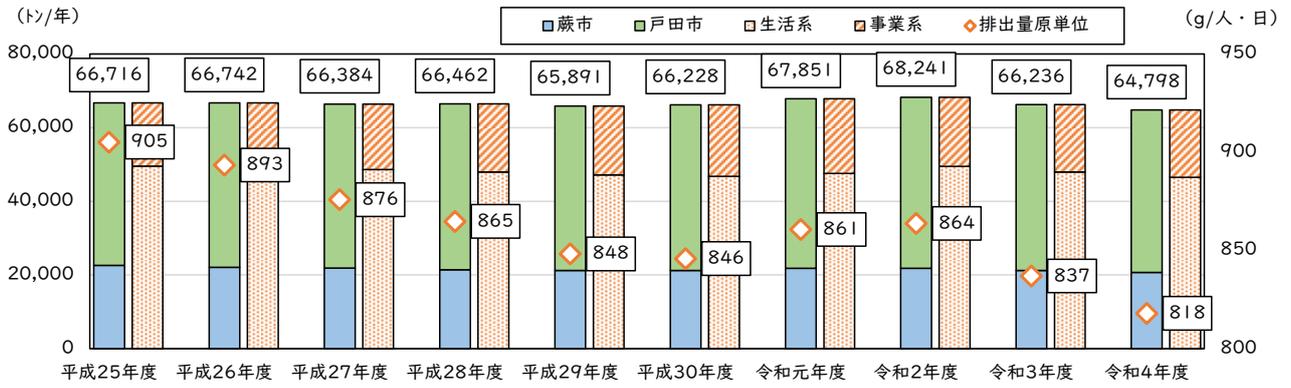


図5 排出量の内訳及び推移

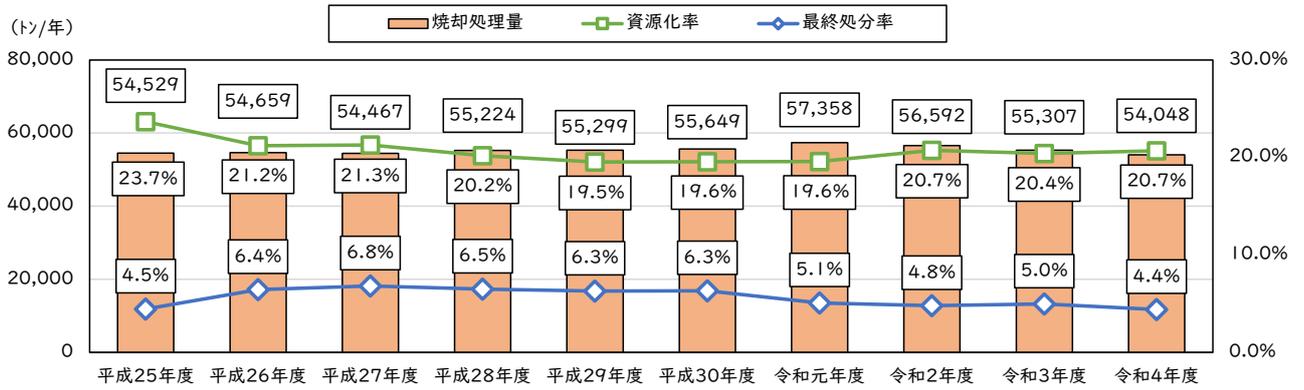


図6 処理量の推移

3. 類似自治体との比較

蕨市及び戸田市のごみ処理の現状を相対的に評価するため、環境省による、令和3年度一般廃棄物処理実態調査結果に基づく市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツールを用いて、類似自治体との比較を行いました。類似自治体は、総務省による地方財政状況調査において用いられている指標をもとに抽出しており、各指標の区分と両市の分類を表5に示します。

このツールは多くの市町村が自らの廃棄物処理システムを客観的に評価し、システムの改善に取り組むことができるよう作成されたものです。都道府県名と市町村名を入力することで、全国の類似自治体を抽出し、抽出された類似自治体とごみ処理の現状における5項目での比較・評価を行うことができます。今回は、項目間の数値の分布幅も考慮し、偏差値での比較を行いました。

このツールで得られた蕨市及び戸田市と類似自治体との比較結果を、それぞれ図7～図8及び表6～表7に示します。図7～図8では、類似自治体の平均の偏差値(50)を赤線、蕨市及び戸田市の実績の偏差値を黒線で表示しており、赤線の外側に行くほど類似自治体より優れていることを示します。

なお、以降の分析は「1. ごみ排出量」及び「2. ごみ処理量」と使用する統計データが異なることから、実績値と値が一致しない場合があります。

蕨市の「人口一人一日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等を除く)」、「廃棄物のうち最終処分される割合」、「人口一人当たり年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」の全てにおいて、他自治体より優れている結果となっています。

戸田市の「廃棄物のうち最終処分される割合」、「人口一人当たり年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」は他自治体より優れており、「人口一人一日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等を除く)」は他自治体の平均値に近い結果となっています。

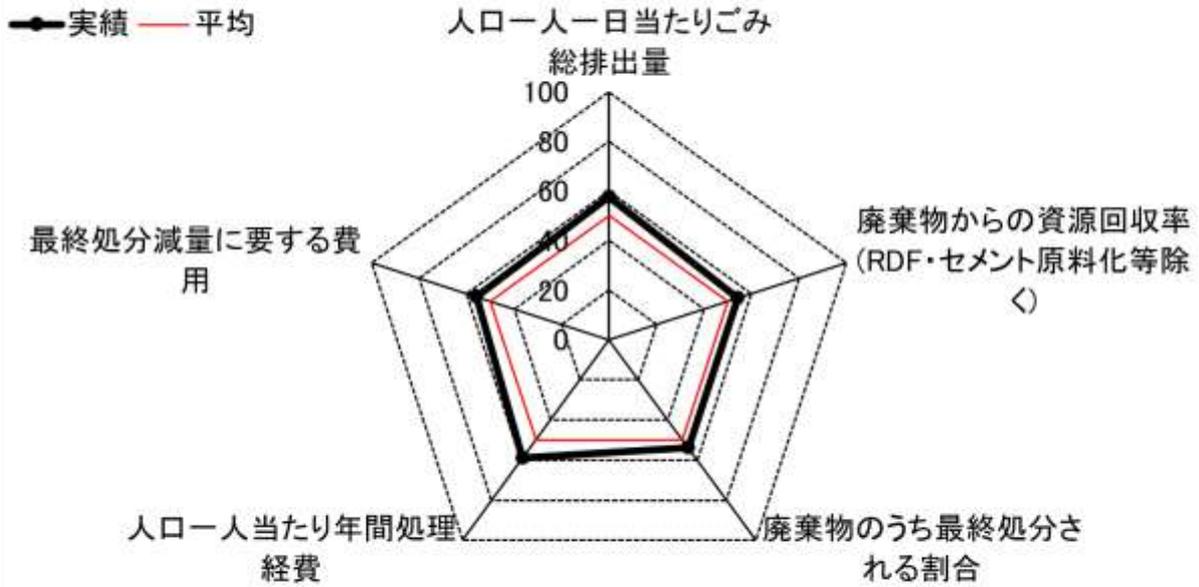
表5 類似自治体の分類と両市の区分

指標		区分	蕨市	戸田市
都市形態		政令指定都市、中核市、特例市、都市(前述以外の都市)、特別区、町村	都市	都市
人口区分	都市	I: 5万人未満、II: 5万人以上10万人未満、 III: 10万人以上15万人未満、IV: 15万人以上	II	III
	町村	I: 5千人未満、II: 5千人以上1万人未満、 III: 1万人以上1万5千人未満、IV: 1万5千人以上2万人未満、V: 2万人以上		
産業構造 (※)	都市	0: II次・III次 95%未満かつIII次 55%未満 1: II次・III次 95%未満かつIII次 55%以上 2: II次・III次 95%以上かつIII次 65%未満 3: II次・III次 95%以上かつIII次 65%以上	3	3
	町村	0: II次・III次 80%未満 1: II次・III次 80%以上かつIII次 55%以上 2: II次・III次 80%以上かつIII次 55%以上		

※それぞれII次: 第2次産業就業人口、III次: 第3次産業就業人口を示す

埼玉県蕨市

類似市町村数 96

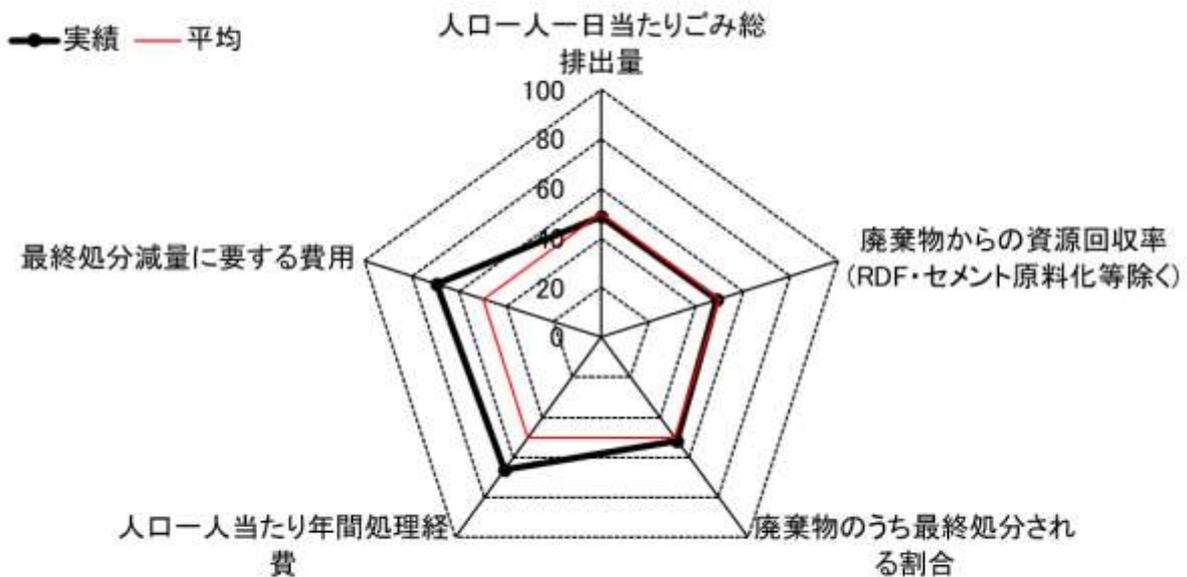


資料: 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果(令和3年度実績)

図7 蕨市のシステム評価結果 (類似自治体との比較)

埼玉県戸田市

類似市町村数 61



資料: 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果(令和3年度実績)

図8 戸田市のシステム評価結果 (類似自治体との比較)

表6 蕨市と類似自治体の比較

項目		蕨市	平均
人口	人	75,603	
人口1人1日当たりごみ総排出量	g/人・日	770	866
廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等を除く)	%	21.4%	18.3%
廃棄物のうち最終処分される割合	%	4.9%	8.2%
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	10,636	13,543
最終処分減量に要する費用	円/トン	36,963	43,983

表7 戸田市と類似自治体の比較

項目		戸田市	平均
人口	人	141,213	
人口1人1日当たりごみ総排出量	g/人・日	873	861
廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等を除く)	%	19.6%	20.4%
廃棄物のうち最終処分される割合	%	5.0%	5.9%
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	8,614	13,752
最終処分減量に要する費用	円/トン	25,775	44,023

以降では、これらの各項目について詳細に比較を行います。

(1) 人口一人一日当たりごみ総排出量

蕨市及び戸田市と類似自治体の比較（人口一人一日当たりごみ総排出量）をそれぞれ表8～表9に示します。

蕨市の人口一人一日当たりごみ総排出量は、類似自治体の平均値より少ない結果となっています。内訳としては、排出形態別単位排出量では特に一人一日当たり事業系排出量が平均値を大きく下回っています。また生活系ごみの中では、特に資源ごみ排出量が平均値を上回っています。

戸田市の人口一人一日当たりごみ総排出量は、類似自治体の平均値より多い結果となっています。多い原因としては、事業系排出量が多いことがあげられます。また内訳としては、排出形態別単位排出量では特に集団回収・資源ごみを除く一人一日当たり生活系排出量が平均値を大きく下回っています。生活系ごみの中では、特に可燃ごみが平均値を大きく下回る一方、資源ごみは平均値を上回っています。

表8 蕨市と類似自治体の比較（人口一人一日当たりごみ総排出量）

項目		蕨市	平均
人口		75,603	
人口1人1日当たりごみ総排出量		770	866
排出形態別 単位排出量	1人1日当たり生活系排出量	622	608
	1人1日当たり事業系排出量	148	224
	集団回収・資源ごみを除く 1人1日当たり生活系排出量	477	518
1人1日 当たり 生活系ごみ 種別排出量	可燃ごみ	429	467
	不燃ごみ	25	26
	資源ごみ	145	90
	その他	0	1
	粗大	23	24

表9 戸田市と類似自治体の比較（人口一人一日当たりごみ総排出量）

項目		戸田市	平均
人口		141,213	
人口1人1日当たりごみ総排出量		873	861
排出形態別 単位排出量	1人1日当たり生活系排出量	598	609
	1人1日当たり事業系排出量	275	222
	集団回収・資源ごみを除く 1人1日当たり生活系排出量	450	504
1人1日 当たり 生活系ごみ 種別排出量	可燃ごみ	403	449
	不燃ごみ	23	26
	資源ごみ	148	104
	その他	0	2
	粗大	24	28

※赤字：類似自治体平均より特に優れている数値、青字：類似自治体平均より特に劣っている数値を示す。

資源ごみについては、排出量が多いほど優れている（赤字）とみなす。以降の表も同様。

(2) 廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等を除く）

蕨市及び戸田市と類似自治体の比較（廃棄物からの資源回収率）をそれぞれ表10～表11に示します。

蕨市の資源回収率は類似自治体の平均値より高く、戸田市は平均値より低い結果となっています。

両市ともに、特に紙製容器包装、ペットボトル及び布類の回収率は高く、容器包装プラスチック類の回収率は低くなっています。また蕨市ではガラス類の回収率が高くなっており、戸田市では紙類の回収率が低くなっています。

表10 蕨市と類似自治体の比較（廃棄物からの資源回収率）

項目		蕨市	平均
人口	人	75,603	
廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等を除く)	%	21.4%	18.3%
01 紙類 (02、03を除く)	トン/排出量トン	7.5%	7.2%
02 紙パック	トン/排出量トン	0.0%	0.0%
03 紙製容器包装	トン/排出量トン	1.6%	0.2%
04 金属類	トン/排出量トン	2.6%	2.2%
05 ガラス類	トン/排出量トン	2.7%	1.7%
06 ペットボトル	トン/排出量トン	1.9%	0.8%
07 白色トレイ	トン/排出量トン	0.0%	0.0%
08 容器包装プラスチック類 (07を除く)	トン/排出量トン	1.3%	1.6%
09 プラスチック類 (07, 08を除く)	トン/排出量トン	0.0%	0.2%
10 布類	トン/排出量トン	1.1%	0.7%
11 肥料	トン/排出量トン	0.0%	0.2%
12 飼料	トン/排出量トン	0.0%	0.0%

表11 戸田市と類似自治体の比較（廃棄物からの資源回収率）

項目		戸田市	平均
人口	人	141,213	
廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等を除く)	%	19.6%	20.4%
01 紙類 (02、03を除く)	トン/排出量トン	6.9%	8.1%
02 紙パック	トン/排出量トン	0.1%	0.0%
03 紙製容器包装	トン/排出量トン	0.8%	0.4%
04 金属類	トン/排出量トン	2.3%	2.4%
05 ガラス類	トン/排出量トン	1.7%	1.8%
06 ペットボトル	トン/排出量トン	1.3%	0.8%
07 白色トレイ	トン/排出量トン	0.0%	0.0%
08 容器包装プラスチック類 (07を除く)	トン/排出量トン	1.6%	2.1%
09 プラスチック類 (07, 08を除く)	トン/排出量トン	0.0%	0.3%
10 布類	トン/排出量トン	1.3%	0.8%
11 肥料	トン/排出量トン	0.0%	0.4%
12 飼料	トン/排出量トン	0.0%	0.0%

※07 容器包装プラスチック類は、PET以外のプラスチックボトル、パック・カップ・弁当容器、複合アルミ箔、商品の袋・包装（アルミなし）、販売店の袋・包装・レジ袋、ラップ・ネット、緩衝材・詰め物、その他の容器包装・梱包材を指す。

(3) 廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用

蕨市及び戸田市と類似自治体の比較（廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用）をそれぞれ表12～表13に示します。

蕨市の最終処分減量に要する費用及び最終処分される割合は、いずれも類似自治体の平均値より低い結果となっています。

戸田市の最終処分減量に要する費用は類似自治体の中で最も低く、最終処分される割合は平均値よりやや低い結果となっています。

最終処分される割合の内訳を見ると、焼却残さ最終処分量の割合が、蕨市では類似自治体の平均値より低く、戸田市では類似自治体の平均値より高くなっています。

表12 蕨市と類似自治体の比較
(廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用)

項目		蕨市	平均
人口	人	75,603	
最終処分減量に要する費用	円/トン	36,963	43,983
廃棄物のうち最終処分される割合	%	4.9%	8.2%
直接埋立最終処分量	トン/トン	0.0%	1.1%
焼却残さ最終処分量	トン/トン	4.9%	6.2%
処理残さ最終処分量	トン/トン	0.0%	0.8%

表13 戸田市と類似自治体の比較
(廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用)

項目		戸田市	平均
人口	人	141,213	
最終処分減量に要する費用	円/トン	25,775	44,023
廃棄物のうち最終処分される割合	%	5.0%	5.9%
直接埋立最終処分量	トン/トン	0.0%	0.3%
焼却残さ最終処分量	トン/トン	5.0%	4.8%
処理残さ最終処分量	トン/トン	0.0%	0.8%

(4) 人口一人当たり年間処理経費

蕨市及び戸田市と類似自治体の比較（人口一人当たり年間処理経費）をそれぞれ表14～表15に示します。

蕨市の人口一人当たり年間処理経費は類似自治体の平均値より低い結果となっています。年間処理経費の内訳を見ると、収集経費と中間処理経費、その他経費は平均値より低い一方、最終処分経費は高くなっています。

戸田市の人口一人当たり年間処理経費は類似自治体の中で、草津市に次いで二番目に低い結果となっています。年間処理経費の内訳を見ると、全項目で類似自治体の平均値より低くなっています。

表14 蕨市と類似自治体の比較（人口一人当たり年間処理経費）

項目		蕨市	平均
人口	人	75,603	
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	10,636	13,543
人口1人当たり収集経費	円/人・年	5,050	5,242
人口1人当たり中間処理経費	円/人・年	4,413	6,971
人口1人当たり最終処分経費	円/人・年	1,128	985
人口1人当たりその他経費	円/人・年	45	344

表15 戸田市と類似自治体の比較（人口一人当たり年間処理経費）

項目		戸田市	平均
人口	人	141,213	
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	8,614	13,752
人口1人当たり収集経費	円/人・年	4,574	5,637
人口1人当たり中間処理経費	円/人・年	3,183	7,016
人口1人当たり最終処分経費	円/人・年	814	821
人口1人当たりその他経費	円/人・年	43	277

4. 埼玉県内自治体及び全国自治体との比較

令和3年度一般廃棄物処理実態調査結果による蕨市及び戸田市と埼玉県内の自治体（63市町村）との比較結果を、それぞれ図9～図10に示し、さらに全国の自治体（1,718市町村+東京都23区）との比較も併せて表16に示します。図9～図10では、県内自治体の平均の偏差値（50）を赤線、蕨市及び戸田市の実績の偏差値を黒線で表示しており、赤線の外側に行くほど県内自治体より優れていることを示します。

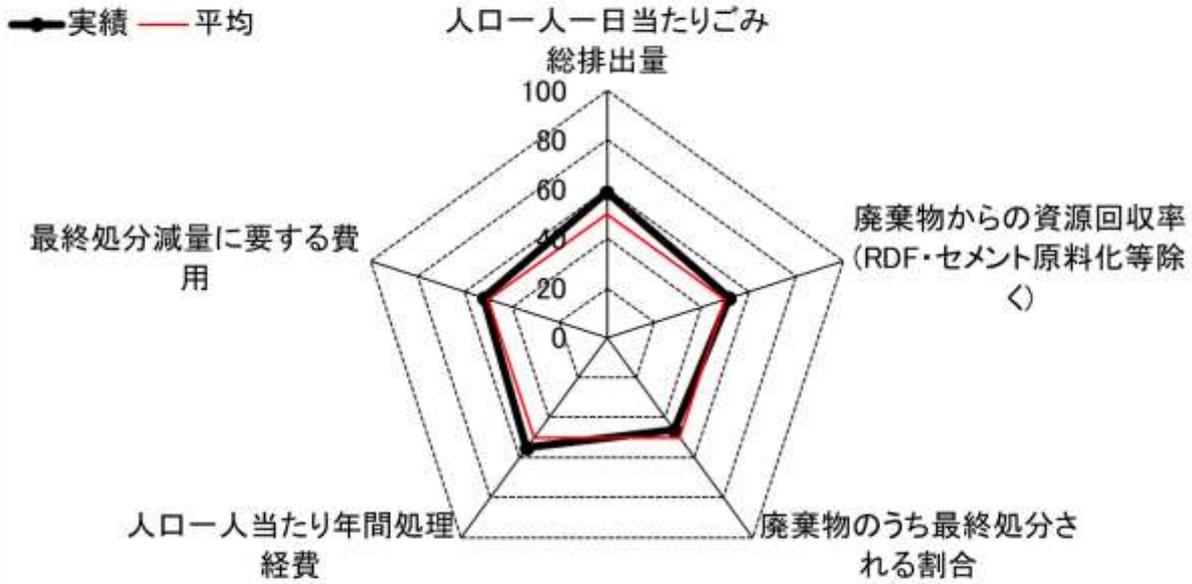
なお、図9～10において「類似市町村数 63」と表記されていますが、比較対象は埼玉県内の全市町村であり、都市形態区分・人口・産業構造に関わらず、全ての県内自治体と比較しています。また、全国の自治体についても日本の全市町村を示しており、都市形態区分・人口・産業構造に関わらず、全ての全国自治体と比較しています。

蕨市の「人口一人一日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等を除く）」、「人口一人当たり年間処理経費」は県内自治体より優れており、「最終処分減量に要する費用」、「廃棄物のうち最終処分される割合」は県内自治体の平均値に近い結果となっています。

戸田市の「人口一人当たり年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」は県内自治体より優れており、「人口一人一日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等を除く）」、「廃棄物のうち最終処分される割合」は県内自治体の平均値に近い結果となっています。

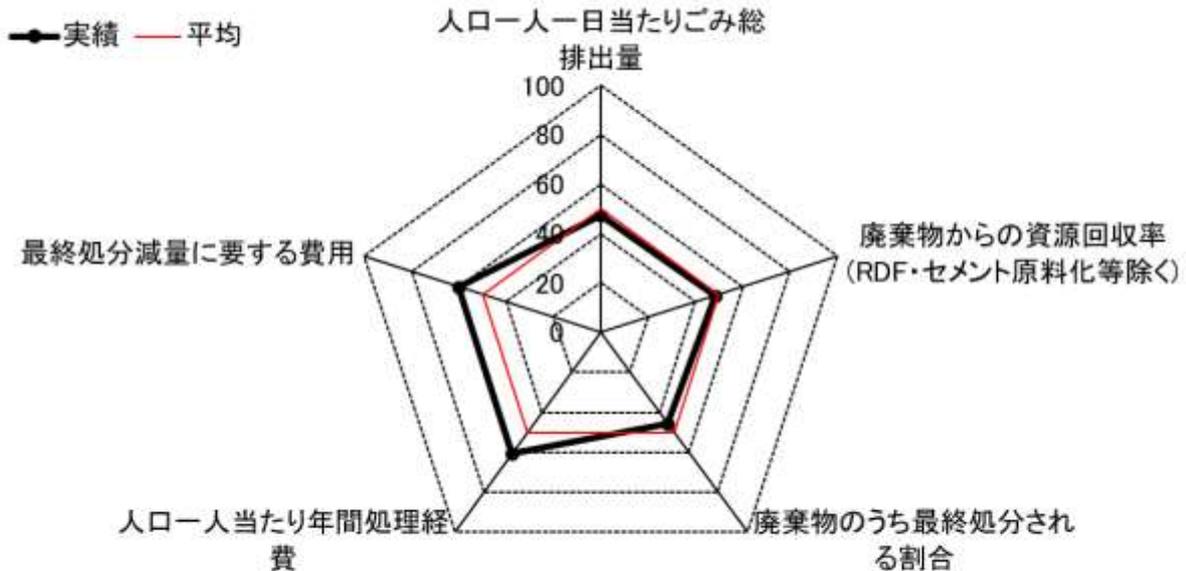
しかし全国自治体と比較すると、両市ともに5項目すべてにおいて優れており、特に「人口一人当たり年間処理経費」と「最終処分減量に要する費用」が優れていることがわかりました。

※全国自治体の平均値には、東京23区を1つの自治体として計上しています。また、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島にある「色丹村、泊村、留夜別村、留別村、紗那村、蕊取村」の6村を除いて計上しています。



資料: 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果(令和3年度実績)

図9 蕨市のシステム評価結果(県内自治体との比較)



資料: 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果(令和3年度実績)

図10 戸田市のシステム評価結果(県内自治体との比較)

表16 蕨市・戸田市と県内自治体及び全国自治体の比較

項目		蕨市	戸田市	県内平均	全国平均
人口	人	75,603	141,213		
人口1人1日当たりごみ総排出量	g/人・日	770	873	849	903
廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等を除く)	%	21.4%	19.6%	20.5%	17.8%
廃棄物のうち最終処分される割合	%	4.9%	5.0%	3.9%	9.9%
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	10,636	8,614	12,489	16,521
最終処分減量に要する費用	円/トン	36,963	25,775	39,518	53,383

以降では、これらの各項目について詳細に比較を行います。

(1) 人口一人一日当たりごみ総排出量

蕨市及び戸田市と県内及び全国の自治体の比較（人口一人一日当たりごみ総排出量）を表17に示します。

蕨市の人口一人一日当たりごみ総排出量は県内自治体の平均値より大幅に低く、戸田市は平均値より多い結果となっています。しかし、全国自治体の平均値よりは両市ともに低くなっています。内訳としては、両市とも排出形態別単位排出量では特に集団回収・資源ごみを除く一人一日当たり生活系排出量が県内及び全国の平均値を下回っています。また生活系ごみの中では、可燃ごみが県内及び全国の平均値を下回り、資源ごみが県内及び全国の平均値を上回っています。戸田市では、一人一日当たり事業系排出量が県内及び全国の平均値を大きく上回っています。

表17 蕨市・戸田市と県内自治体の比較（人口一人一日当たりごみ総排出量）

項目		蕨市	戸田市	県内平均	全国平均
人口		75,603	141,213		
人口1人1日当たりごみ総排出量		770	873	849	903
排出形態別 単位排出量	1人1日当たり生活系排出量	622	598	655	678
	1人1日当たり事業系排出量	148	275	173	225
	集団回収・資源ごみを除く 1人1日当たり生活系排出量	477	450	546	577
1人1日 当たり 生活系ごみ 種別排出量	可燃ごみ	429	403	489	476
	不燃ごみ	25	23	38	38
	資源ごみ	145	148	109	101
	その他	0	0	1	3
	粗大	23	24	19	29

※赤字：県内自治体平均より特に優れている数値、青字：県内自治体平均より特に劣っている数値を示す。

資源ごみについては、排出量が多いほど優れている（赤字）とみなす。以降の表も同様。

(2) 廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等を除く）

蕨市及び戸田市と県内及び全国の自治体の比較（廃棄物からの資源回収率）を表18に示します。

蕨市の資源回収率は県内自治体の平均値より高く、戸田市は低い結果となっています。しかし、全国自治体の平均値よりは両市ともに高くなっています。内訳としては、両市ともに紙製容器包装及び布類の回収率が県内及び全国の平均値より高くなっています。また、容器包装プラスチック類の回収率は全国の平均値と比べると近いもしくは高くなっていますが、県内の平均値よりは低くなっています。さらに蕨市では、ガラス類やペットボトルの回収率も県内及び全国の平均値より高くなっています。

表18 蕨市・戸田市と県内自治体の比較（廃棄物からの資源回収率）

項目		蕨市	戸田市	県内平均	全国平均
人口	人	75,603	141,213		
廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等を除く)	%	21.4%	19.6%	20.5%	17.8%
01 紙類 (02、03を除く)	トン/排出量トン	7.5%	6.9%	7.4%	6.5%
02 紙パック	トン/排出量トン	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
03 紙製容器包装	トン/排出量トン	1.6%	0.8%	0.4%	0.4%
04 金属類	トン/排出量トン	2.6%	2.3%	2.3%	2.5%
05 ガラス類	トン/排出量トン	2.7%	1.7%	1.6%	1.8%
06 ペットボトル	トン/排出量トン	1.9%	1.3%	0.9%	0.8%
07 白色トレイ	トン/排出量トン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
08 容器包装プラスチック類 (07を除く)	トン/排出量トン	1.3%	1.6%	1.8%	1.3%
09 プラスチック類 (07、08を除く)	トン/排出量トン	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%
10 布類	トン/排出量トン	1.1%	1.3%	1.0%	0.4%
11 肥料	トン/排出量トン	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
12 飼料	トン/排出量トン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用

蕨市及び戸田市と県内及び全国の自治体の比較（廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用）を表19に示します。

両市ともに最終処分減量に要する費用は県内自治体の平均値より低く、全国自治体の平均値よりはさらに低くなっています。最終処分される割合は県内の平均値よりは高いですが、全国の平均値よりは低い結果となっています。内訳としては、直接埋立最終処分量と処理残さ最終処分量は両市ともに0.0%であり、焼却残さ最終処分量の割合は、両市ともに全国の平均値より低くなっています。

表19 蕨市・戸田市と県内自治体の比較
(廃棄物のうち最終処分される割合と最終処分減量に要する費用)

項目		蕨市	戸田市	県内平均	全国平均
人口	人	75,603	141,213		
最終処分減量に要する費用	円/トン	36,963	25,775	39,518	53,383
廃棄物のうち最終処分される割合	%	4.9%	5.0%	3.9%	9.9%
直接埋立最終処分量	トン/トン	0.0%	0.0%	0.2%	1.9%
焼却残さ最終処分量	トン/トン	4.9%	5.0%	2.6%	6.2%
処理残さ最終処分量	トン/トン	0.0%	0.0%	1.1%	1.8%

(4) 人口一人当たり年間処理経費

蕨市及び戸田市と県内及び全国自治体の比較（人口一人当たり年間処理経費）を表20に示します。

両市ともに人口一人当たり年間処理経費は県内自治体の平均値よりも低く、全国自治体の平均値よりはさらに低くなっています。中でも戸田市は県内自治体の中で越谷市に次いで2番目に低い結果となっています。

年間処理経費の内訳を見ると、蕨市は収集経費と最終処分経費は県内の平均値より高いですが、全国の平均値よりは低くなっています。また、中間処理経費とその他経費は県内及び全国の平均値より低くなっています。戸田市では収集経費が県内の平均値より高いものの、他の項目では低く、特に中間処理経費は県内自治体の平均値の半分以下となっています。

表20 蕨市・戸田市と県内自治体の比較（人口一人当たり年間処理経費）

項目		蕨市	戸田市	県内平均	全国平均
人口	人	75,603	141,213		
人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	10,636	8,614	12,489	16,521
人口1人当たり収集経費	円/人・年	5,050	4,574	4,169	5,471
人口1人当たり中間処理経費	円/人・年	4,413	3,183	7,110	9,180
人口1人当たり最終処分経費	円/人・年	1,128	814	862	1,456
人口1人当たりその他経費	円/人・年	45	43	347	414